

14. 腎がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 泌尿器科	7	7	状況 ○	○	×	○	○	×	癌の患者さまに対しては、手術を中心に癌の完全治療を目指し、抗癌剤の治療や放射線の治療を行います。ただし、ただ癌をやっつけることだけが最終目標ではなく、癌を持った人間である患者さまを救うことが目標であります。	ア 泌尿器科 http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s13.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績 あり	あり	なし	あり	あり	なし		イ http://			
2 放射線治療科	2	2	状況 ×	×	×	×	×	○	化学療法は単独で癌を根治することが難しく、補助療法として用いられるためこのような呼び方がされます。当科では肺癌の定位照射やIMRT(強度変調放射線療法)などの高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に行っています。	ア 放射線治療科 http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s31.html	掲載なし	掲載あり	掲載あり
			実績 なし	なし	なし	なし	なし	あり		イ http://			
3			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
4			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
5			状況							ア http://			
			実績							イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:腎細胞がん 腎細胞がん
------------------------------------	------------------